

総合的な学習の時間 指導案

尾道市立長江中学校

指導者 長井 嵐

- 1 日 時 令和3年9月15日(水) 5時限目
2 場 所 2年2組教室
3 学年・学級 2年2組 (男子17名, 女子14名 計31名)
自閉症・情緒障害特別支援学級 (ひまわり学級, 女子1名)

4 単 元 名 生き方学習 ～自分で切り拓く道～

5 単元について

(1) 単 元 観

本単元は、2年生の「生き方学習 ～自分で切り拓く道～」の上に位置づけられたものである。自己理解を深めたり、お手本となる人物の生き方を調べたりした上で、これからの自分の生き方についての立志宣言を作成し、発表する。自己の将来に関する探究的な学習を行うことを通して、自分自身のこれからの生き方を考えるとともに、残りの中学校生活で取り組むべき事を考察し、実行しようとする態度を養うことがねらいである。

本中学校区の総合的な学習の時間では、答えのない問い(答えが1つではない問い)に対して、複数の視点から解を導き出し、他者の解とすりあわせながら、そのとき考えられる最適な解を導き出せる生徒の育成を目指している。生徒自身が抱えている目標や希望を実現させる方法はたくさんあり、その中で自分にとっての現時点での最適解を考えさせることが、自己の生き方について考えを深める学習となる。

(2) 生 徒 観

令和3年8月25日に本校第2学年の生徒58名に行ったアンケートの結果から、次のことが明らかになった。このアンケートは文部科学省「中学校キャリア教育の手引き」より引用したものであり、「基礎的・汎用的スキル」のうち、質問①～③は「自己理解・自己管理の能力」について、④～⑥は「キャリアプランニング能力」についての質問である。

質問項目	肯定的回答	否定的回答
①自分の興味や関心、長所や短所などについて把握しようとしていますか。	67.3%	32.8%
②気持ちが沈んでいる時や、あまりやる気が起きない物事に対する時でも、自分がすべきことには取り組もうとしていますか。	43.1%	56.9%
③不得意なことや苦手なことでも、自ら進んで取り組もうとしていますか。	48.2%	51.8%
④学ぶことや働くことの意義について考えたり、今学校で学んでいることと自分の将来とのつながりを考えたりしていますか。	65.5%	34.5%
⑤自分の将来について具体的な目標をたて、その実現のための方法について考えていますか。	69.0%	31.0%
⑥自分の将来の目標に向かって努力したり、生活や勉強の仕方を工夫したりしていますか。	72.4%	27.6%

「人間関係形成・社会形成能力」の領域の肯定的評価は 89.6%、「課題対応能力」の領域の肯定的評価は 70.1%であるのに対して、「自己理解・自己管理能力」の領域の肯定的評価は 52.8%、「キャリアプランニング能力」の領域の肯定的評価は 68.9%にとどまった。

このアンケート結果から、自分の興味や関心、長所や短所について把握しようとしているが、気持ちが落ち込んでいたり不安を抱えていたりすると意欲的に物事に取り組みなくなる生徒の割合が高いことが示された。また、自分の将来について考えたり、具体的に目標を立てたりする方法が分からない生徒がいることも明らかとなった。

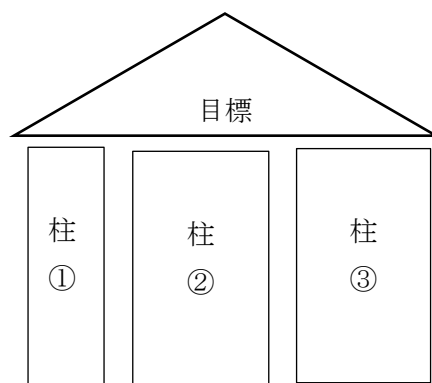
(3) 指導観

探究的な学習をすすめるため、「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の学習過程をふまえた指導に留意する。

「課題の設定」の場面では、尾道市内の中学2年生の行事として行われている立志式と絡めて、自分の「志」とは何かを考えさせたい。この課題の解決に向けて、志を漠然としたものとして終えないために、理想とする「ゴールの姿」とその姿に近づくための「道筋」の2つに分けて、志を考えさせる。毎時間の振り返りでは、授業の中で志が変化している生徒に対して、自分と向き合っている証拠であることを肯定的に評価する。

また、自己理解・自己管理能力や、キャリアプランニング能力が低い生徒がいると実態をふまえ、不得意なことや苦手なことにも自ら進んで取り組み、将来に向けて具体的な目標を立てて努力する力を身に付けさせたい。そこで「情報の収集」の場面では、過去の経験、現在の適性さらに、夢や希望をふまえた「志」を考えさせる。過去や現在のことを主観的な視点だけでなく、客観的な視点も踏まえて、情報を集めさせるために、まず、エゴグラムの結果をもとに友だちからの長所・短所の助言を行う。この際、気持ちが落ち込んでいたり不安を抱えていたりすると意欲的に物事に取り組みなくなる生徒がいるという実態をふまえて、交流する時間を設ける。このことにより、自分以外の人も悩みを持っていることに気付くことをうながし、生き方学習への意欲を高めることができると思う。つぎに、先人調べを行う。この際、自分の将来について考えたり、具体的に目標を立てたりする方法が分からない生徒がいるという実態をふまえて、本校の先輩やスポーツ選手などを含めた先人について調べる時間を設ける。このことにより、自己の生き方の参考となる道筋を明確にし、生き方学習への意欲を高めることができると思う。

「整理・分析」の場面では、ゴールの姿と道筋を図に示す「パルテノン（長江中学校オリジナル思考ツール）」を用いて整理する。ゴールを支える道筋を自分が大切にしたい価値観で構成し、本校ではこれを「柱」と称して、各価値観の重要度を柱の太さで表す。



図

「まとめ・表現」の場面では、「パルテノン」をもとに、立志宣言を作成し、学年内で7～8人のグループを作り、グループ内で発表させる。そして、自分の志を実現するためには、残りの中学校生活で何に取り組むべきかを次なる課題として設定する。

6 題材の目標

(1) 自分の個性と、世の中にある多様な生き方を理解している。

【知識・技能】

(2) 自分がこれからの人生で大切にしたい価値観について考えている。

自分が大切にしたい価値観について、自分の適性やこれまでの人生、他者の生き方を参考にしながらまとめ、他者に伝えることができる。

【思考・判断・表現】

(3) 授業で考えたことを、自分自身のこれからの生き方に積極的に生かそうとしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

本校で育成したい資質・能力のうち、本単元で特に育成を目指すのは、「思考力・表現力」、「主体的に学ぶ力」である。

7 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①多面的な視点から自分の長所や短所、性格や適性を理解している。	①自分が大切にしたい価値項目について、自分の適性から考えることができる。	①課題解決に向けて見通しを持ち、自分を振り返りながら次時の活動に生かそうとしている。
②人生の歩み方は1つではなく、世の中には多様な生き方があることを理解している。	②自分が大切にしたい価値観について、他者の生き方をふまえて具体的に考えている。 ③自分が大切にしたい価値観について、自分の適性やこれまでの人生、他者の生き方を参考にしながらまとめることができる。 ④自分が大切にしたい価値観を具体的に他者に伝えている。	②課題解決に向けて自身の活動を振り返りながら、残りの中学校生活で自分が取り組むべき事を具体的に考え、実行しようとしている。

8 指導と評価の計画（全27時間）本時5／27

次数	○学習内容 ・学習活動 【時数】	評価			
		知	思	態	評価規準（評価方法）【評価項目】

第一 次	○中学校卒業後の進路について調べよう ・高校入試について知りたいことの交流 ・高校入試の仕組みを調査 【1時間】			○ 課題解決に向けて見通しを持ち、自分を振り返りながら次時の活動に生かそうとしている。(行動観察) 【主体的に学習に取り組む態度】
第二 次	○自己理解をしよう ・自分の長所や短所 ・エゴグラム診断 ・主観的な自分と客観的な自分の差の考察 【2時間】	○	○	多面的な視点から自分の長所や短所, 性格や適性を理解している。(ワークシート)【知識・技能】 自分が大切にしたい価値項目について, 自分の適性から考えることができる。(ワークシート)【思考・判断・表現】
第三 次	○「人」について調べよう ・NIE(Newspaper In Education) ・自分の目指す生き方を考察 ・自分が目指す生き方を実現している「先人」の調査 ・3年生の先輩の立志宣言を傾聴 【5時間】 ◆本時2/5時間目	○	○	人生の歩み方は1つではなく, 世の中には多様な生き方があることを理解している。(ワークシート)【知識・技能】 自分が大切にしたい価値観について, 他者の生き方を踏まえて具体的に考えている。(ワークシート) 【思考・判断・表現】
第四 次	○調べたことをポスターにまとめ, 発表しよう ・自分が大切にしたい価値観の分析 ・プレゼンテーション 【4時間】		○	自分が大切にしたい価値観について, 自分の適性やこれまでの人生, 他者の生き方を参考にしながらまとめることができる。(ポスター)【思考・判断・表現】
第五 次	○今後の自分の生き方について考えよう ・立志宣言の作成と発表 ・中学校で取り組むべき事の考察 【15時間】		○	○ 他者の生き方から考えたことや, 自分が大切にしたい価値観を他者に伝えることができる。(立志宣言) 【思考・判断・表現】 課題解決に向けて自身の活動を振り返りながら, 残りの中学校生活で自分が取り組むべき事を具体的に考え, 実行しようとしている。(振り返りシート) 【主体的に学習に取り組む態度】

10 本時の展開

(1) 本時の目標

○自分の理想とするゴールを実現するために, 自分が大切にしたい価値観を具体化することができる。

(2) 本時の準備物

・ワークシート, テレビ, パソコン

(3) 本時の主体的な学びを促す手立て

志を支える柱を考えるために, 思考ツールを用いる。【見所】学習活動6

(4) 本時の評価基準

十分満足 (A)	おおむね満足 (B)	努力を要する生徒への手立て (C)
○これからの人生で大切にしたい価値観の柱とその重要度を考え、自分が目指す生き方を具体化することができる。	○これからの人生で大切にしたい価値観の柱とその重要度を考えることができる。	○グループ交流の際、他者の意見を自分の考えに取り入れるよう助言する。

(5) 本時の学習展開

	学習活動	○指導上の留意点 ◆努力を要する生徒への支援	☆評価規準 (評価方法)
導入	<p>1 前時までの学習を振り返る。</p> <p>2 学習課題をつかむ。</p>	<p>○自分の理想とするゴールの姿が書かれたワークシートを見返すように指示する。</p> <p>○志をパルテノンとして捉え、大切にしたい価値観を柱とすることの共通認識を図る。</p> <p>○本時の学習課題を示す。</p> <p>「パルテノン」の柱を考えよう。</p> <p>○本時の学習目標を示す。</p> <p>自分が大切にしたい価値観を具体的に表現できる。</p>	
展開	<p>3 著名人の生き方を知る。</p> <p>4 人生で大切にしたいことを考える。</p>	<p>○家族との時間を大切にしている、タレントの藤井隆さんの生き方を紹介する。</p> <p>○藤井隆さんが人生で大切にしている価値観の柱を示す。</p> <p>○ワークシートを配布する。</p> <p>○マインドマッピングをしながら考えを書き出させる。</p> <p>○考えを 10 個以上出すことを目標に設定する。</p>	<p>予想される生徒の記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間との関わり ・仲間との繋がり ・趣味 ・仕事 ・楽しむこと ・家族 ・挑戦 ・お金 ・努力 ・生命

<p>5 自分のゴールの姿を実現するための柱とその重要度を考える。</p> <p>6 自分が立てた柱をグループで交流する。</p> <p>7 自分の目指す生き方を表現する。</p>	<p>○パルテノンを使って考えさせる。</p> <p>○藤井隆さんのパルテノンを見て、ゴールの姿や、柱の数や太さが人によって違うのは当然であることを、共通認識として持たせる。</p> <p>○4～5人班を作り、発言者に対して、質問をするように指示する。</p> <p>○理想とするゴールの姿との繋がりを意識して説明させる。</p> <p>◆質問パターンのリストを準備しておく。</p> <p>○質問したり答えたりしながら、新たに気付いたことをメモするように伝えておく。</p>	<p>☆自分が大切にしたい価値観について、他者の生き方を踏まえて具体的に考えている。 (ワークシート)【思考・判断・表現】</p>
<p>予想される生徒の表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 休日は趣味を大切にしながら、仕事では挑戦し続ける生き方 ・ 命と健康を第一に考え、安定して過ごす生き方 ・ 家族に尽くし、子育てに奮闘する生き方 ・ 誰も成し遂げたことがないことに積極的に取り組む生き方 		
<p>ま 8 本時のまとめと次時と確認する。</p> <p>め</p>	<p>○次回からは自分と同じ理想の生き方を 実現している「先人」を調べることを 予告する。</p>	

(6) 板書計画

めあて：自分の目指す生き方を具体的に表現できる

例 藤井隆さん

自分の人生で大切にしたいこと